

令和8年度架け橋期のカリキュラム（下関市立西市子ども園・下関市立西市小学校）

こども園	めざすこども像	☆にこにこ明るくやさしい子 ☆つながる子	☆いきいきとよく遊ぶ子 ☆ちからいっぱい頑張る子	☆しっかりと考えて行動する子 ☆言葉で伝える子								
	育みたい力	○身近な人や友達に安心感をもち、安定して過ごす。 ○よい言葉や温かい言葉を掛けたり、掛けてもらったりする嬉しさを感じる心 ○自分以外の人の気持ちを感じる心 ○友達のよさに気付く力	○さまざまな事柄や自然事象に興味をもち、不思議さを感じる力 ○挑戦したり、試したり、工夫したりする意欲 ○困難なことが起こったときにすぐに諦めずに頑張ったり、助けを求めたりする力 ○体の大切さを知り、変化（体調や痛み）に気付く力	○人の話を興味をもって聞く力 ○自分の思いや経験したことを伝えたり、相手の思いを見たり聞いたりし、よりよいコミュニケーションをとろうとする力 ○ルールの大切さを感じ、守ろうとする力 ○状況や場面によって、ふさわしい態度をとろうとする力								
キーワード	配慮事項の援助及び	・園での生活に安心感をもち、主体的に過ごせるように、保護者と連携し、幼児の育ちの理解や成長の喜びを共有しながら子どもへのよりよい関わりにつなげていく。 ・子どもたちが安心して生活できる場になるように、温かな言葉や関わりを大切に職員が情報を共有し連携していく。 ・小さい子どもとふれあい、気持ちに気付いて関わり方を考えたり工夫したりする経験ができるように、異年齢同士の関わり合いを大切にする。 ・いざこざや困った出来事を自分たちの課題として乗り越えられるように、子ども同士の姿を見守る。必要な場面で仲立ちや提案をし、解決した経験を積み重ねることで問題解決能力を身に付けられるようにする。 ・高齢者をはじめ、働く人などの地域の人々とふれあったり関わったりすることで、地域や地域の人へ愛着をもてるようにする。	・環境を通して、子どもたちのしたい思いが実現したり、様々な感情体験ができたりするように、一人ひとりが満足するあそびの道具、時間、空間を確保する。 ・気付いたり試したりする子どもの姿を受け止め共感し、繰り返しやってみようとする意欲につなげる。 ・目標に向かってやり遂げる達成感や満足感を体験したり、共通の目的に向かって友達と力を出し合い、協力する楽しさや充実感を味わったりし、自信につなげていく。 ・子どもが困り感をもっている時は、気持ちを尋ねて手伝ったり、提案したりして心に寄り添った援助をし、乗り越えられた自信につなげていく。 ・多様な運動あそびを経験する環境を整え、元気な体の育成に努める。 ・食育活動を行い、食べ物と自分の体について興味をもてるように取り組んでいく。 ・子ども同士で認め合ったり助け合ったりする姿をほめ、仲間意識を高めていく。	・子ども同士の気持ちのよいやりとりを、認めたり共感したりしてその心地よさを積み重ね、よりよいコミュニケーション能力や共感力を高めていく。 ・身近な人との関わりの中で自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりする経験を重ねていく。その中で、子どもの伝えたい気持ちを大切にしながら言葉にしにくかったことを保育者が必要に応じて言語化し、仲立ちしていく。 ・「振り返りの時間」を大切に、一人の思いや出来事を全体で共有することで共感力、思考力、多様性の気付きを育む。 ・絵本等視聴覚教材に触れる時間を十分にもち、感性や言葉、文化を感じることができるようにする。また、イメージを膨らませる楽しさや、皆で同じ世界を共有する楽しさや心を通わせる一体感を味わえるようにしていく。 ・多様な活動や共通体験を通してルールの大切さや集団の良さ、楽しさを感じられるようにする。 ・いろいろな場所へ出かけ様々な人と関わる中で、場に合った行動や態度を身につけていく。								
	キーワード											
小学校	めざすこども像	☆やさしい子 ・相手のことを考える 思いやりのある子	☆つよい子 ・たくましい心と体で 最後までがんばり抜く子	☆かんがえる子 ・自ら学び、よく考え 学びを楽しむ子								
	育みたい力	○自分から元気なよいあいさつができる力 ○よい言葉や温かい言葉を使うことができる力 ○相手を思いやる、しなやかで寛容な心 ○友達のよさを見つけ、理解しようとする力 ○安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができる力	○意欲をもって活動できる力 ○気持ちの切り替えができる力 ○友だちや先生、地域の人とも自分から関わる力 ○善悪の判断ができる力 ○できなくても自分なりに最後までがんばることができる力	○自分の思いや考えを伝えることができる力 ○友達と一緒に学び合う力 ○人の話を最後まで聞くことができる力 ○いろいろなことに興味をもつことができる力								
	配慮事項の援助及び	・机の配置やくつろげるスペース、絵本コーナーの設置など、環境に留意し、安心して学校生活を送れるようにする。 ・先生や友だちと遊んだり関わったりする中で、そのよさや楽しさを感じクラスの一員であることに気付くことができるようにする。 ・先生を始め、周囲の大人がよい見本となりあいさつをする。よいあいさつをしている子を紹介する。 ・道徳や学活と関連して、友達のよいところ見つけをする。 ・身近な生き物を育てたり、園との交流活動を行ったり、園とのつながりを意識した活動を取り入れる。 ・児童から引き出した温かい言葉を書き出したものを掲示し、日頃から使えるようにする。 ・児童同士が互いの考えを話し合えるようにペア学習やグループ学習を取り入れる。	・児童の興味関心のある事柄を見つけ、活動の見通しをもたせ、計画的に指導する。 ・食育では、好き嫌いが克服できるように、栄養教諭と連携した指導を進めたり、給食調理場を見学に行ったりしながら、自分で食べる量を調節できることをめざす。 ・よい行動に対して価値づけを行う。 ・子ども同士の意見の相違が起きたときは、話し合う時間を十分に取し、相手の思いを知り考えられるようにする。 ・チャレンジしようとする姿や頑張りを認める声掛けをすることで、自己肯定感を高める。 ・自分でできたという達成感をもてるように、視覚的な支援を入れる等、指導の工夫をすることで成功体験を多くもたせる。	・授業の中で、ミニ先生となって児童同士が教え合うことができるようにする。 ・地域の方や保護者などたくさんの大人と関わる機会を設定する。 ・児童会活動や園との交流活動を通し、異年齢での関わりがもてるようにする。 ・園での経験を引き出ししながら、活動の流れを一緒に考える。 ・「聞き方あいうえお」を活用し上手な聞き方を意識させ、相手の思いを肯定的に捉えられるようにする。 ・各教科や季節につながる本や具体物などを準備し、子どもたちが自由に読んだり遊んだりできる場を設定する。 ・発言の仕方や話形などを掲示し、発表する時に自信をもって伝えられるようにする。 ・校外学習や地域との行事など、実際に体験する機会を設け、学びを深め興味関心を広げられるようにする。								
生活科を中心とした活動(教科)												
交流の予定	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	こ小連携会議	おかえりの会	引き渡し避難訓練 七夕飾り作り・道の駅交流会	保育参観			運動会の練習の様子を見る	秋を楽しもう 持久走大会の応援	あそびランドへようこそ さつまいもショップ	どんど焼き集会	予備入学 授業体験	こ小連絡協議会
	・小学校の中休み時間に校庭で遊ぶ（好きな遊具で遊ぶ・児童と交流する・教職員と挨拶をかわす）											